

オーベクス株式会社

2025年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2024年8月9日



01 — 会社概要

02 — 事業内容

03 — 2025年3月期第1四半期決算概要

04 — 中期経営計画

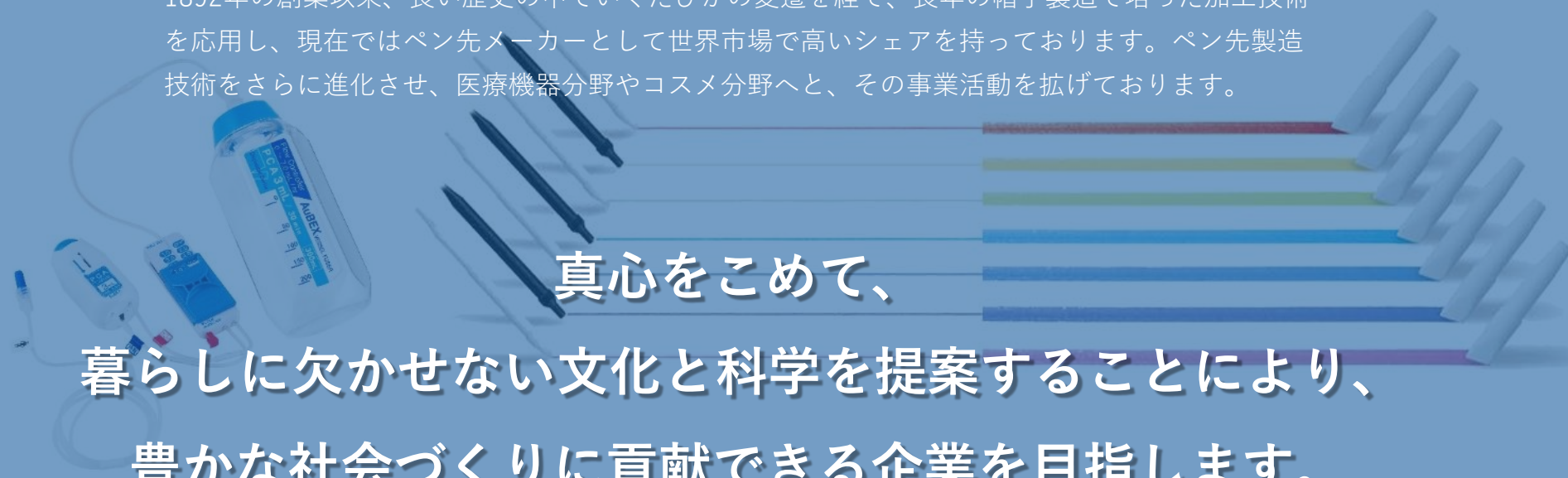
05 — サステナビリティについて

06 — 配当について

商号	オーベクス株式会社
資本金	19億3,983万円
代表者	代表取締役社長 栗原 則義
創立	1892年（明治25年）12月12日
設立	1893年（明治26年）12月29日
本社	〒130-0026 東京都墨田区両国4-31-11 ヒューリック両国ビル9F
連絡先	TEL：03-6701-3200(代) / FAX：03-6701-3023
事業内容	【テクノ製品】 サインペン先、コスメチック用ペン先の製造販売 【メディカル製品】 医療機器の製造販売
従業員数	129名（連結 343名） ※2024年3月31日現在
グループ企業	オーベクステクノロジー株式会社 オーベクスメディカル株式会社 天津奥貝庫斯技研有限公司

当社は、近代日本資本主義の父といわれる渋沢栄一が設立した会社です。1892年（明治25年）に舶来山高帽子の国産化を目的とする東京帽子株式会社として創業し、1985年（昭和60年）に現在のオーベクス株式会社に社名を変更しております。

1892年の創業以来、長い歴史の中でいくたびかの変遷を経て、長年の帽子製造で培った加工技術を応用し、現在ではペン先メーカーとして世界市場で高いシェアを持っております。ペン先製造技術をさらに進化させ、医療機器分野やコスメ分野へと、その事業活動を拡げております。



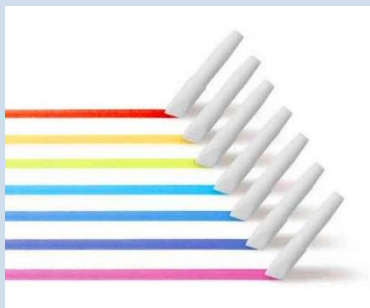
**真心をこめて、
暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。**

テクノ製品事業の売上構成比率は71.2%

- 主力製品は、サインペン先などの筆記具関連とアイライナー用ペン先などのコスメチック関連、
その他スタイラス用ペン先などの PC 周辺関連や芳香剤用芯などを取り扱っています。

ペン先製品の特徴

1950年代からフェルトペン先の供給を開始して以来、ポリエステル繊維、ナイロン繊維、アクリル繊維、エンジニアリングプラスチック等を原料としたペン先の生産を行っており、長年積み重ねてきた信頼性と技術開発力は、高い評価をいただき、世界各国の有名筆記具メーカーにご採用いただいております。



コスメ用製品の特徴

ペン先製造で長年積み重ねてきた信頼性と技術開発力は、コスメチックフィールドに活かされ、高い評価をいただいております。

しなやかなチップが特徴のアイライナーを始め、アイブ로우用、リップライナー用、ネイルケア用、ネイルアート用など、メイク用からケア用まで幅広いバリエーションでご要望にお応えしております。

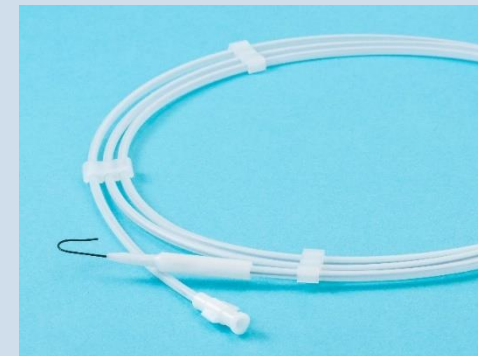


メディカル製品事業の売上構成比率は28.8%

- 主力製品は、自社開発の流量制御チューブを採用した加圧式医薬品注入器と操作性を追求した親水性ガイドワイヤー、その他医療用部材を取り扱っています。

メディカル製品の特徴

当社の流量制御技術から生まれた加圧式医薬品注入器は、フローコントローラーと制御チューブを組み合わせることで、他社にはない多段階の切替が可能です。これにより流量を1時間あたり、0.5mLからコントロールすることが可能です。循環器科・心臓血管・冠動脈造影・カテーテル造影検査に特化したガイドワイヤーは、独特の先端形状により、主血管から側枝血管への迷入を軽減させ、親水性ポリマーコーティングで摩擦抵抗を少なくし、操作性を高めています。安全性・機能性を追求し、それぞれの医療シーンに合わせたラインナップで患者様のQOL（quality of life）の向上に貢献しています。



決算サマリー

連結売上高 12.9%増収 営業利益 112.9%増益

- グループ技術を結集した新製品開発への取組みを強化
- テクノ製品事業では、中国を含むアジア地域での積極的な販売活動を推進
- メディカル製品事業では、積極的なプロモーション活動と販売活動に注力

売上高

売上高は、テクノ製品事業、メディカル製品事業とも堅調に推移し、12.9%増の1,456百万円。

前年同期比 +12.9%

14.5億円

営業利益

営業利益は、テクノ製品事業においてアジア地域での販売増とコスト削減効果等により、112.9%増の253百万円。

前年同期比 +112.9%

2.5億円

テクノ製品事業

売上高

10.3億円

前年同期比 +11.7%

セグメント利益

3.1億円

前年同期比 +82.7%

メディカル製品事業

売上高

4.1億円

前年同期比 +16.1%

セグメント利益

0.3億円

前年同期比 +26.6%

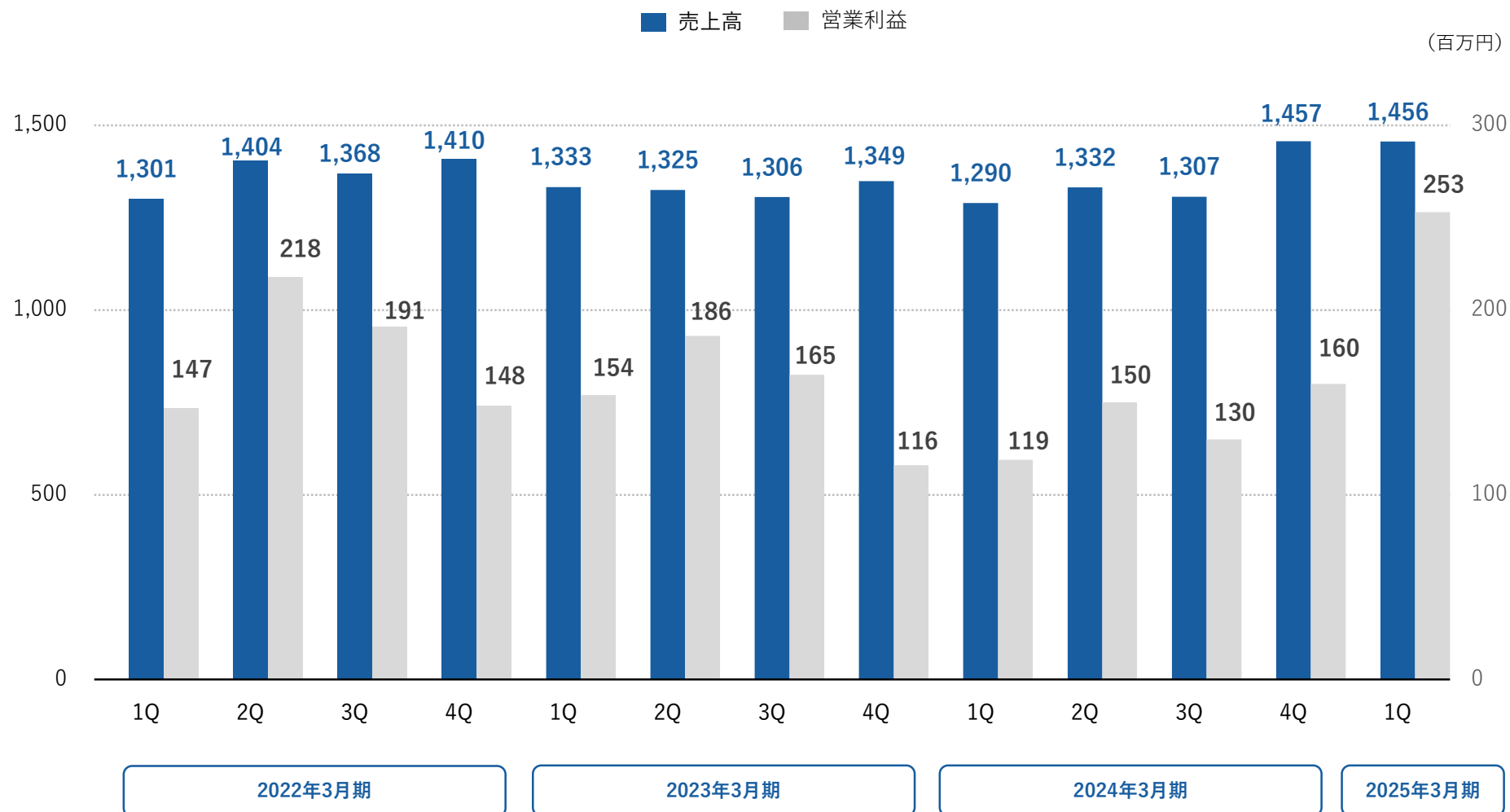
損益計算書（P/L）

- ・売上高は、テクノ製品事業、メディカル製品事業とも堅調に推移し、12.9%増の1,456百万円。
- ・営業利益は、テクノ製品事業においてアジア地域での販売増とコスト削減効果等により、112.9%増の253百万円。
- ・営業利益率は、17.4%となり、前年同期比で8.4ポイント増加。

(百万円)

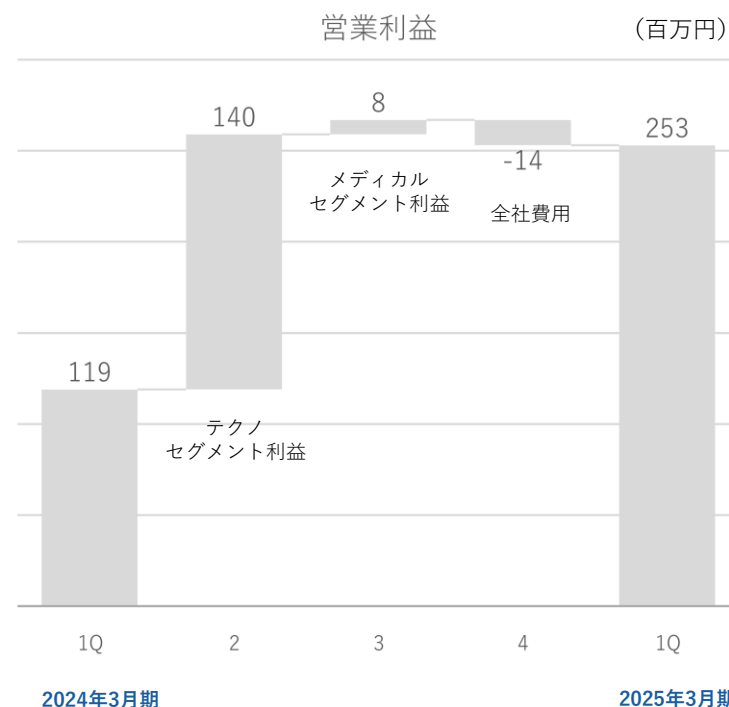
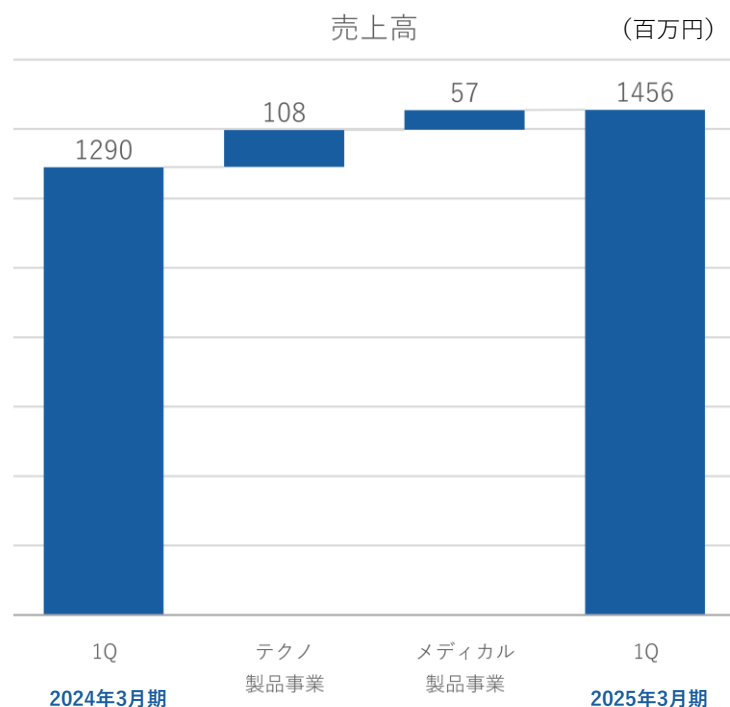
	2024年3月期					2025年3月期	前年同期比
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	
売上高	1,290	1,332	1,307	1,457	5,387	1,456	+12.9%
営業利益	119	150	130	160	560	253	+112.9%
経常利益	135	158	123	183	600	271	+100.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	109	107	79	139	436	179	+63.3%

売上高・営業利益の四半期推移



売上高・営業利益の増減要因

- ・売上高は、テクノ製品事業の主力製品である筆記具関連が回復基調となったこと、メディカル製品事業ではシェア拡大に向けた販売活動に注力したことにより前年同期比で165百万円増加。
- ・営業利益は、積極的な販売活動により全社費用は増加したものの、テクノ製品事業のアジア地域での販売が好調だったことに加えコスト削減効果もあり前年同期比で134百万円増加。



セグメント別状況

テクノ製品事業 | 主力製品の筆記具関連の売上が回復基調へ。中国を含むアジア地域の売上は好調に推移。

メディカル製品事業 | 積極的なプロモーション活動の展開により、売上は堅調に推移。

(百万円)

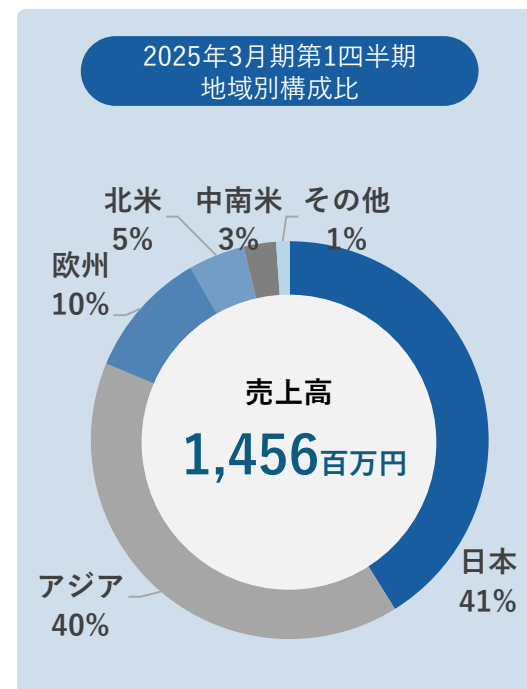
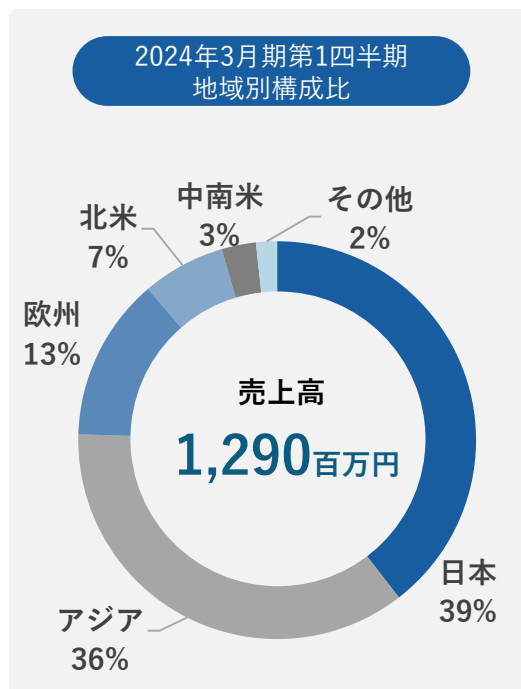
	2024年3月期第1四半期		2025年3月期第1四半期		前年同期比（%）	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
テクノ製品事業	929	170	1,037	310	+11.7	+82.7
メディカル製品事業	360	29	418	37	+16.1	+26.6

地域別売上状況

日本国内および中国を含むアジアの売上は好調に推移したものの、欧州、北米地域の売上は、低調となりました。

(百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比 増減率(%)
日本	509	598	+17.5
アジア	463	584	+26.1
欧州	171	151	△12.0
北米	87	67	△22.1
中南米	36	38	+6.8
その他	22	16	△26.4
合計	1,290	1,456	+12.9



貸借対照表（B/S）

（百万円）

資産の部	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	増減
流動資産	6,342	6,467	124
固定資産	3,378	3,308	△70
有形固定資産	3,062	3,033	△29
無形固定資産	30	30	0
投資その他の資産	285	244	△41
資産合計	9,721	9,775	54

（百万円）

負債・純資産の部	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	増減
流動負債	1,748	1,700	△48
固定負債	1,716	1,663	△53
負債合計	3,465	3,363	△101
株主資本	6,067	6,186	122
資本金	1,939	1,939	－
資本剰余金	518	518	－
利益剰余金	3,810	3,931	120
自己株式	△201	△199	1
その他の包括利益累計額	189	222	33
純資産合計	6,256	6,412	155
負債純資産合計	9,721	9,775	54

2025年3月期
第1四半期

自己資本比率

65.6%

流動比率

380.4%

固定比率

51.6%

業績予想（2024年5月10日発表）

- 2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高5,700百万円、営業利益630百万円、経常利益610百万円、親会社株主に帰属する当期純利益460百万円を見込んでいます。

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	2025年3月期 第1四半期 (実績)	進捗率
売上高	5,315	5,387	5,700	1,456	25.5%
営業利益	623	560	630	253	40.2%
経常利益	639	600	610	271	44.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	469	436	460	179	38.9%

第8次中期経営計画 オーベクスビジョン2024（2022年度～2024年度）

- 基本方針 新市場（スタンダード市場）において持続的成長と企業価値向上を具現化する
- スローガン 「Change + Update “チェンジ プラス アップデート”」
- グループ基本戦略
 - ① 既存事業強化による事業拡大と持続的成長に向けた設備投資
 - ② 技術を結集した新製品開発および新分野への展開
 - ③ スタンダード市場の上場維持基準適合への取組み推進
 - ④ 多様で柔軟な働き方と環境負荷低減活動の推進

最終年度 定量目標（連結）

売上高

63 億円

営業利益

8.3 億円

設備投資（3ヶ年合計）

設備投資

10 億円

サステナビリティへの取組

当社の創業者である渋沢栄一翁の経営哲学「道德経済合一説」（仁義道德と生産殖利とは元来ともに進むべきもの）は、持続可能な社会を目指すものであります。その精神を受継ぐ当社は、「真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。」を経営理念に掲げ、「オーベクスグループ行動規範」を定めるとともにリスクマネジメント方針をはじめとする各方針を策定しております。環境問題、社会的課題への対応を経営課題の重要事項のひとつと位置付け、ESG経営を推進することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境 Environment

大気汚染対策 廃棄物対策
環境に配慮した製品開発



社会 Social

働き甲斐のある職場環境 人財育成
人権の尊重 地域社会への貢献



ガバナンス Governance

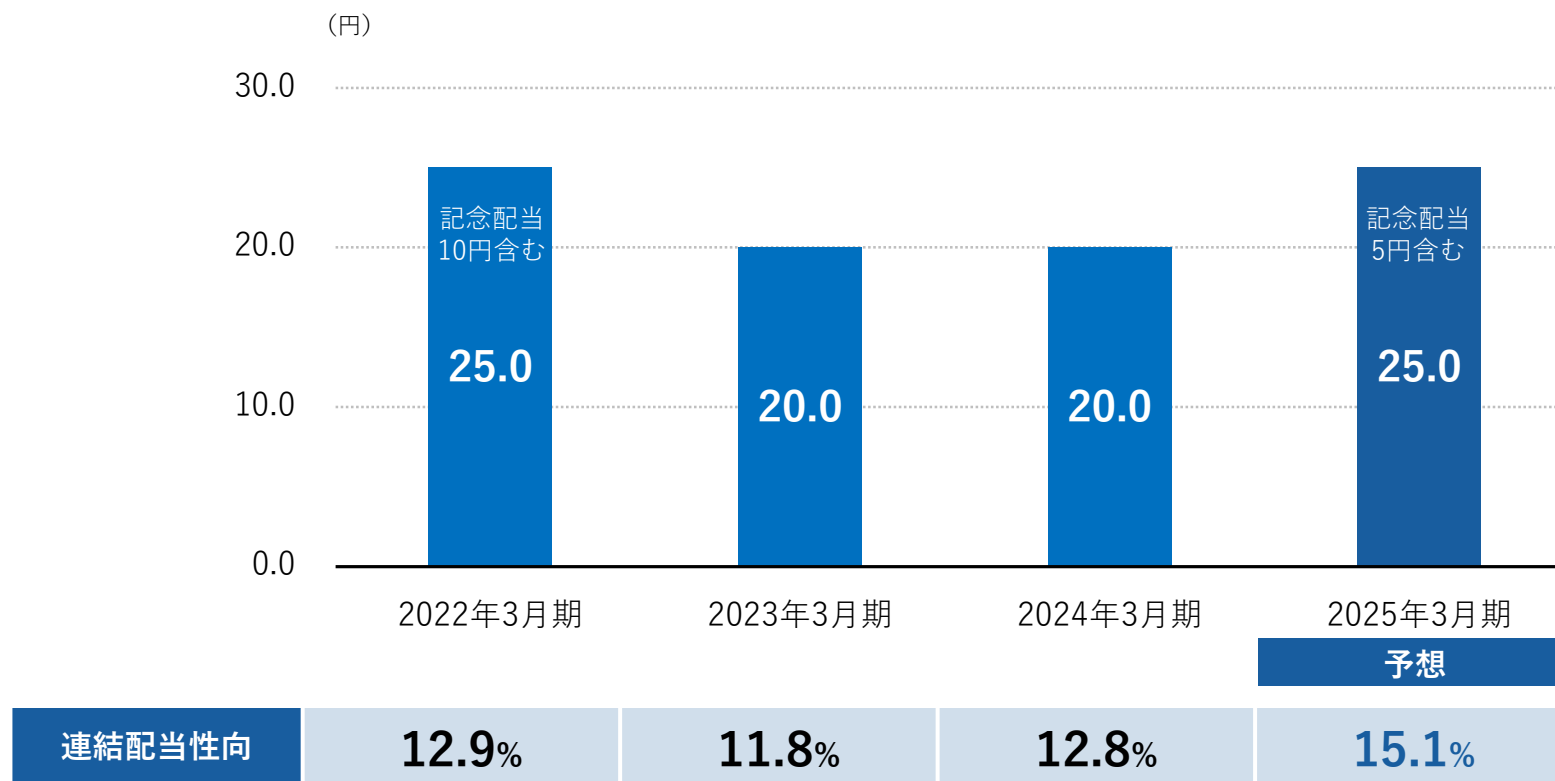
コンプライアンス（法令と社会規範の遵守）
積極的な情報開示 リスク管理



配当方針

利益配分に関しましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、将来に向けた研究・開発、設備投資等を行うための内部留保の充実を図りつつ、中長期的視野に立って収益に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

配当金の推移



本資料のお取り扱い上の注意

本資料に記載された見解や見通し、ならびに予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません

IRに関するお問い合わせ

https://www.aubex.co.jp/contact_request/

オーベクス株式会社

コーポレートサイト <https://www.aubex.co.jp/>